

第2次総合計画では「つと」「暮らし」「健康・いのち」「子育て・人づくり」「地域づくり」「行政経営」の、6つのまちづくり分野を設け、各分野の取り組み方向性や目指す姿を示しています。

6つのまちづくり分野
2つの重点プロジェクト

市では、最重要課題を人口減少と捉えています。この課題を解決するため、これまでも市では、子育て支援や定住促進に関するさまざまな事業を展開してきました。しかし、高齢人口の増加と出生数の減少により、自然減(生まれの数の数よりも亡くなる人の数が多い状態)が続いており、人口減少の傾向は今後も続くことが見込まれます。人口減少のスピードを緩やかにし、市全体の活力を持続させていくためには、少子化対策をさらに強化すること、まちづくりの担い手となる若者や勤労世代を確保することが優先的に求められます。

最重要課題は人口減少



第2次

花巻市まちづくり総合計画 長期ビジョン
を策定しました



市の方向性を示す最も重要な「総合計画」

総合計画は、花巻市の今後のまちづくりの方向性を示す最も重要な計画です。市では平成25年9月に「花巻市まちづくり総合計画 長期ビジョン」を市議会の議決を経て策定し、平成26年度から令和5年度までの10年間の計画期間で市政運営に取り組んでまいりました。

この間、人口減少が急速に進みましたが、その中にもあっても、本市は令和元年から4年連続で社会増(転入者が転出者を上回る状態)【*】となるなど、市が行ってきた子育て支援や定住促進の取り組みに一定の成果が表れています。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価高騰など、近年、社会情勢は大きく変化。本市の市民生活や経済活動に大きな影響を与え、市民の皆さんのニーズも多様化、複雑化しています。

持続可能な市政運営を

このような状況の中、市では地域の特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政運営していくため、長期的視点に

「子ども・子育て応援プロジェクト」と「花巻で暮らそうプロジェクト」の2つを設け、人口減少対策に積極的に取り組みます。

多くの市民の皆さんにご協力いただきました

第2次総合計画の策定に当たり、市民の皆さんと将来の花巻市を一緒に考え、後世に受け継ぐことを目指し、市民意識アンケート調査や市民ワークショップ、関係団体などとの意見交換会などを開催。多くの皆さんに参画いただきました。



まちづくり市民ワークショップでは参加者の皆さんからさまざまな意見をいただきました

まちづくり市民ワークショップでは、23歳以上の市民の皆さんで構成する「一般部門」に加え、市内各高校の生徒や大学生・社会人、22歳までの市民による「若者部門」を設け、若い世代の視点からまちづくりの検討を行いました。

また、市政に関係する約10の団体などとの意見交換会を複数回開催して意見を伺ったほか、パブリックコメントによる意見募集に当たっては、長期ビジョンの策定の経過や素案の概要などに関するスライド動画を作成し、インターネット上に公開するなど、より多くの市民の皆さんに関心を寄せただけできるよう取り組みました。

立った市政運営の指針となる第2次花巻市まちづくり総合計画(以下「第2次総合計画」という)の策定作業を進めてまいりました。

第2次総合計画は、令和6年度から13年度までの8年間の計画です。将来都市像などを示す「長期ビジョン」と、具体的な事業などを掲載する前期・後期、各4年間の「アクションプラン」の2つで構成しています。そのうち、2月8日の市議会臨時会で議決となったのは「長期ビジョン」です。



*令和6年1月現在の花巻市住民基本台帳に基づく速報値によると、令和5年は社会減(転入者が転出者を下回る状態)となっています

実施した市民参画など

令和4年6~7月	市民意識アンケート調査
令和4年7月~令和5年1月	まちづくり市民ワークショップ
令和4年11月~令和5年1月	関係団体などとの意見交換①(まちづくり分野の政策について)
令和5年4~5月	関係団体などとの意見交換②(人口減少対策について)
令和5年8月	関係団体などとの意見交換③(長期ビジョンの素案について)
令和5年8月	長期ビジョン素案地域説明会
令和5年10月	長期ビジョン素案ワークショップ参加者説明会
令和5年11~12月	パブリックコメント
令和6年1月	大迫・石鳥谷・東和各地域協議会・花巻市地域自治推進委員会・花巻市総合計画審議会への諮問

長期ビジョンの内容は、次のページで紹介いたします!